

町家で学ぶ 伝統建築の基礎



京都建築専門学校

2019年度 伝統建築研究科

基礎講座 ご案内

近年、身近な文化財への関心が日に日にたかまっています。あるいは伝統意匠を受け継いだ新しい建築への注目度も増加しています。今後、建築に携わるものとして歴史的な建築の知識は必要不可欠のものとなるでしょう。町家や民家をはじめとして、社寺建築や茶室など、それらの基礎知識を持つことによって、活動の幅が広がることと思われます。

講座の受講対象者は、**本校建築科・建築科二部の卒業生**、**伝統建築研究科入門講座修了生**、**大学等で日本建築史を受講した人**、全国各地で開催されている**文化財マネージャーの講習を受講された方**です。そして上記と同等以上とみなされる方も対象となります。

内容は、**社寺建築の空間や細部意匠**、**グローバルな視点からの茶室や数寄屋**、**各地の民家や町家**、**木造の耐震構造や伝統構法**、**古材について**などです。講義のほか、**見学会**も行う予定です。

□期間：9月30日～2月3日、

□講義：週1回（月）19:00～21:00 計14回

□見学：土または日 計2回

・内容等、詳細は裏面



連絡先：京都建築専門学校

〒602-8044 京都市上京区下立売通堀川東入ル東橋詰町174

TEL 075-441-1141 FAX 075-441-7330

<http://kyotokenchiku.ac.jp> info@kyotokenchiku.ac.jp



伝統建築研究科 基礎講座 概要

□講座科目内容・日程予定：

	月日	曜日	内容（講義：月曜日 19:00～21:00、見学：土または日曜日昼間）
1	9月30日	月	ガイダンス（19:00～19:10） 社寺建築の基礎
2	10月7日	月	社寺建築の基礎
3	10月21日	月	社寺建築の基礎
4	10月28日	月	古建築の保存（具体例）
5	11月11日	月	木構造の概要
6	11月18日	月	木造耐震の基礎
7	11月25日	月	町家と民家
8	12月2日	月	町家と民家
9	12月9日	月	民家・町家の保存
10	12月16日	月	古材について
11	12月23日	月	茶室の基礎
12	1月20日	月	茶室の基礎
13	1月27日	月	茶室の基礎
14	2月3日	月	茶室の基礎
1	11月16日	土	見学（社寺）
2	12月8日	日	見学（近代または数寄屋）

*日程は諸般の事情により変更されることもあります。

□講師：桐浴邦夫（本校副校長、建築史家、茶室・数寄屋に関する著作）／北岡慎也（環境事業計画研究所、文化財の保存修理）
中山利恵（京都工芸繊維大学、古材）／岩波由佳（龍谷大学等、民家の研究）

浅野清昭（大阪工大等、建築構造に関する多数の著作）／高島和之（高島和之建築設計室主宰、藤岡龍介先生に師事）

□受講資格：入門講座修了生、本校建築科・建築科二部の卒業生、大学等で日本建築史の講義を受講された方、文化財マネージャーの講習を受講された方。上記と同等と見なされる方。

□受講料：40,000円（含見学費）

□募集人数：約20名（先着順で締め切ります、）

□募集期間：2019年8月19日（月）～9月27日（金）

□備考1：次年度4月より教養講座が始まります。本講座を受講された方は受講資格となります。

□備考2：これまでに基礎講座を受講した人、基礎教養講座を受講した人、あるいは2015年以前に伝統建築研究科を受講した人には、5,000円の割引制度があります。該当者はご申告ください。

□場所：京都建築専門学校 **よしやまち町家校舎**（講義） 京都市上京区葭屋町通下立売下丸屋町260

□申し込み：下記の受講申込書に必要事項を記入しFAX、または同内容をメールしてください。

FAX 075-441-7330 e-mail info@kyotokenchiku.ac.jp

2019年度後期

京都建築専門学校 伝統建築研究科 基礎講座 受講申込書			
フリガナ		生年月日	年 月 日生 満（ ）歳
氏 名		性 別	男 ・ 女
自 宅 住 所	〒		
	TEL（ ）	— FAX（ ）	— e-mail
勤 務 先 又 は 学 校 名	名称：〒		
	TEL（ ）	— FAX（ ）	— e-mail
これまで基礎講座・基礎教養講座を受講した人、2015年以前に伝統建築研究科を受講した人には割引制度があります。該当者はご申告ください。			
年度		講座名：	